

不完全な小冊子原稿を  
文章のプロに仕上げてもらいたい方へ

ライターにお任せ  
「引継ぎサポートコース」の  
ご案内



集客ツールの宝箱

アート印刷株式会社

引継ぎサポートコースについてのご相談・お問い合わせフォームは

ここをクリック → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>

電話でのお問い合わせは

087-891-0170 (月～金 8:30-18:00)

メールでのお問い合わせは [info@artinsatsu.com](mailto:info@artinsatsu.com)

45分の講演原稿なら書けるけれど、  
完璧な小冊子原稿はちょっとムリ…  
という社長さんにおススメします。

## 原稿作成「引継ぎサポートコース」

完璧な小冊子原稿を書き上げる自信はないけれど、「45分程度の講演原稿なら書ける」という社長さんは多いと思います。

講演の下書き原稿のつもりで、ラフな小冊子原稿をワードに打ち込んでください。文章づくりのプロ「ライター」があなたの原稿を引継いで、見事な小冊子原稿に仕上げます。

★文章のプロ「ライター」が  
あなたの原稿づくりを引継いで完成させます！

¥190,000—

- ※ 上記金額は、表紙デザイン費用と本文レイアウト仕上げの費用を含みます。
- ※ A5サイズで100p以上、A4サイズで50p以上の場合は、割り増し料金が発生します。
- ※ 印刷・製本費用は別途となります。
- ※ 消費税込みです。

## ■ 引継ぎサポートコースの特長は

特長  
1

### 重荷だった小冊子の原稿づくりが楽になります。

「完璧な小冊子原稿を書き上げる自信はないなあ…」という社長さんや先生が多いようです。確かに小冊子の原稿執筆は難しいですね。

もっと、楽に小冊子原稿を書く方法があります。

「完璧な小冊子原稿を書く」という気持ちを捨て、「講演原稿を書こう♪」という気持で執筆にあたると、肩の力がぬけ1～2週間で小冊子を書き上げることができると思います。

講演原稿（ラフな小冊子原稿）が書き上がると、その原稿（ワード）を弊社に入稿してください。

文章づくりのプロ「ライター」があなたの原稿作成を引継いで、見事な小冊子原稿に仕上げます。

特長  
2

### 細かい文章仕上げは「ライター」に任せましょう！

「講演原稿を書こう♪」という気持でラフな小冊子原稿を書いてください。

「主語－述語の対応」「接続詞の入れ方」「文章の重複」「文章のリズム感」などは気にせず、ダイナミックに小冊子原稿をワードに打ち込んでいきましょう。

著者（社長）は、「小冊子に何を載せ、読者に何を伝えたいか！」「何を感じてもらいたいか！」

「お客様を思いやる気持ち」に全神経を集中してください。

文章の細かい仕上げは、文章の専門家「ライター」に任せましょう！

特長  
3

### 著者に電話取材を行い、さらにアレンジします。

入稿して頂いた講演原稿を拝見した後、弊社の方からお客様へお電話します。補足のための電話取材と打ち合わせを行ってから、小冊子原稿の仕上げ作業に入ります。

「へえー！さすが文章づくりのプロ♪」と声を出したくなる「小冊子原稿」に仕上がってきます。

特長  
4

## 小冊子のタイトル・デザインもお任せください！

「引継ぎサポートコース」は、「本文原稿を仕上げる」だけではありません。

1. 本文全体構成の修正（章立て構成の修正）
  2. 小冊子タイトルの提案
  3. 本文のレイアウト仕上げ
  4. 表紙のデザイン作成
- までお手伝いします。

**安心・お得**なサービスです。

※表紙や本文中に載せたいオリジナルのイラスト作成もオプションで承ります。

本パンフレットの15 P～16 Pをご覧ください。

特長  
5

## 50 日後には見事な小冊子が完成しています。

社長さんは超多忙です。小冊子づくりに2ヶ月も3ヶ月も関わるわけにはいきません。

お得な「引継ぎサポートコース」なら、アート印刷にラフな本文原稿を渡してから50日後には素晴らしい小冊子が印刷製本され、あなたの手元に届きます。

「うわぁ！これが私の本… 信じられない 嬉しい＼(^o^)/」

## ■ 引継ぎサポートコース 仕事の流れ

Step  
1

### ワード（WORD）入力の準備をしましょう。

さあ！ 小冊子の原稿作成スタートです。

まずは、弊社のホームページから小冊子のワード書式をダウンロードしてください。

（ワード書式はこちらをクリック）

↓ ↓ ↓

<http://www.artinsatsu.com/support/word/index.html>

Step  
2

### 小冊子の章立て案を考えましょう。

本文の執筆に入る前にやるべきことがあります。

小冊子の章立て案を考えて決定してください。

※本パンフレットの9P～14Pの「章立て例」をご覧ください。

★小冊子の章立てづくりでお困りの方は、お気軽に無料電話相談をご利用ください。

（無料電話相談はこちらをクリック）

↓ ↓ ↓

<https://fs221.xbit.jp/d934/form5/>

Step  
3

### 講演原稿をつくるつもりで ワードにラフな小冊子原稿を入力してください。

完全に仕上がった小冊子原稿をつくるのは大変です。

肩の力をぬいて「講演の下書き原稿」を書くぐらいの気持ちで小冊子の原稿を書いてください。

たとえば、

テーマ「×××選びで失敗しないための7つのチェックポイント」という45分講演の下書き原稿をつくる要領で、小冊子原稿をワードに打ち込んでいきましょう。

※小冊子に載せたい内容は、全てワード（WORD）に打ち込んでください。

※「綺麗な文章を書こう！」など、細かいことは気にせずラフな文章をワードにドンドン打ち込んでください。

※集客用小冊子の標準的な原稿量の目安は、ダウンロードしたワード書式で50～70 Pです。  
90 Pは超えないように注意しましょう。

#### Step 4

### 小冊子原稿が完成するとEメールで送ってください。

講演原稿（ラフな小冊子原稿）を書き上げると、そのワードデータをアート印刷へ送ってください。 [info@artinsatsu.com](mailto:info@artinsatsu.com) まで

原稿が届きますと、弊社の小冊子担当スタッフが拝読します。

「引継ぎサポートコースでお請けできるかどうか？」を判断させていただきます。

お請けできると判断した場合は、小冊子原稿完成後の予定印刷冊数をお聞きします。

※原稿量が極端に少ない場合は、ワンランク上の「完全サポートコース（32万円）」となる場合がございます。

#### Step 5

### お電話でお客様の意向をお聞きします。

原稿を拝読した後、弊社の方からお客様へ電話を入れます。原稿仕上げについてのご要望をお聞きします。

#### Step 6

### 印刷費用の概算見積りをお知らせします。

印刷製本費用の概算見積りをお知らせします。

※この時点では本文のページ数や、印刷仕様が確定していませんので、印刷製本費用の概算見積りはかなりアバウトな金額となります。最終的な正式見積りとは15～25%の誤差があるとお考えください。

原稿作成「引継ぎサポートコース」

↓ ↓

¥190,000 + 印刷／製本費用 = 総費用となります

Step  
7

## 概算見積りが「OK！」なら正式契約となります。

印刷製本費用の概算見積りが「OK！」なら「原稿作成 引継ぎサポートコースを発注する！」の連絡をください。

## ■お支払方法は

正式申し込み後5日以内に「原稿作成 引継ぎサポートコース」の代金  
¥190,000を指定の銀行口座にお振込みください。

ジャパンネット銀行／三菱東京UFJ銀行／百十四銀行がご利用いただけます。

※振込手数料はお客様でご負担下さい

1. ジャパンネット銀行 本店営業部  
普通 001-7219737 アート印刷株式会社
2. 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店  
普通 No.0597795 アート印刷株式会社
3. 百十四銀行（ひゃくじゅうしぎんこう）県庁支店  
普通 No.0064129 アート印刷株式会社

Step  
8

## 補足の電話取材を行います。

「正式発注」の連絡をいただきますと、弊社の方からお電話を入れます。

原稿内容の補足取材をさせていただきます。（45分前後）

※電話取材の日時は事前に調整しますのでご安心ください。

Step  
9

## ライターが原稿の仕上げ作業に入ります。

補足の電話取材が終わりますと、お客様の講演原稿（ラフな小冊子原稿）をライターが引継いで原稿の仕上げ作業に入ります。

※電話取材の結果、お客様にさらに5ページほどの「原稿書き足し」をお願いする場合があります。

**Step  
10****ライターが仕上げた小冊子原稿をチェックしてください。**

ライターの原稿案が仕上がりますと、そのワードデータをEメールで送ります。お客様による原稿チェックをお願いします。

ライターへの修正要望は遠慮なくお申し付けください。

このような「ライター」と「著者」間のやりとりを2回行って、小冊子原稿を完成させます。

また、小冊子のタイトルもお客様と意見交換の上、最終決定します。

**Step  
11****本文のレイアウト・表紙のデザイン作業に入ります。**

小冊子の本文原稿が完成すると、DTPオペレーターが本文のレイアウト作業を、デザイナーが表紙のデザイン案づくりに入ります。

それらの作業が終わりますと、校正紙を準備し宅配便でお届けします。(第1校正といえます)

本番印刷前の校正チェックをしてください。修正指示は遠慮なくお申し付けください。

※2回目の校正はPDFファイルをEメールで送ります。

**Step  
12****校正が終わると、印刷製本費用の正式見積りをお知らせします。**

2回の校正チェックが終わると本文のページ数が確定しますので、印刷製本費用の正式見積りを計算しお知らせします。

300冊の印刷をご希望の方には、300冊と500冊の正式見積りを。

1000冊をご希望の方には、1000冊と1500冊の正式見積りをお知らせします。

正式見積りをご覧になって、印刷冊数をお決めください。

**Step  
13****8日後に完成した小冊子を発送します。**

印刷冊数が決まると、印刷製本作業に入ります。

8日後には完成した小冊子を宅配便で発送します。

## ■印刷製本費用のお支払いについて

印刷製本費用が20万円未満の場合は完成した小冊子が到着してから1週間以内に指定の口座にお振り込みください。

印刷製本費用が20万円以上の場合は、印刷冊数決定時に費用の50%をお振り込みください。


残金は完成した小冊子が完成してから1週間以内にお振り込みください。

## ■引継ぎサポートコースのお問合せ／ご相談は

- 引継ぎサポートコースについてのお問い合わせ・お申込みフォームは

 → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>

- 電話でのお問い合わせは

 → 087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)

- Eメールでも

 → [info@artinsatsu.com](mailto:info@artinsatsu.com)

以上、

原稿作成サポート「引継ぎサポートコース」の説明です。

ご不明な点、疑問点などございましたらいつでもお問い合わせください。

集客ツールの宝箱

**アート印刷株式会社**

---

引継ぎサポートコースについてのご相談・お問い合わせフォームは

ここをクリック → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>

電話でのお問い合わせは

087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)

メールでのお問い合わせは [info@artinsatsu.com](mailto:info@artinsatsu.com)

集客用小冊子の基本的な構成

## 人を動かす「魔法の章立て」をもとにした 講演原稿の「基本的な章立て」

---

小冊子の原稿づくりとなると筆が進みません。  
しかし、  
講演の下書き原稿なら筆がドンドン進みます。

私たち素人が小冊子原稿を書こうとすると、  
綺麗な言葉で書こう… センスのよい文章で… 教養高く… など、目に見えないプレッシャー、さまざまな雑念で肩に力が入ってしまいます。

そのために筆が進まなくなり、途中で原稿づくりを諦めてしまう人が多いようです。

そこで、

もっと気楽に最後の最後まで書き進めるために、『講演の下書き原稿』を執筆するつもりで、集客用小冊子の原稿を書いてみましょう。

ここでは、

集客用小冊子の原稿づくりにつながる、講演原稿の「基本的な章立て例」を紹介します。

## ◆講演の「基本的な章立て」

- はじめに 簡単に自己紹介 そして、  
「本日は、最近話題の×××問題の現状と、その対処方法について  
お話ししたいと思います」（今から話す内容を簡単に伝える）

※集客用小冊子の場合「はじめに」の標準的な文章量はA4で2P～3P程度です。

### ● 第1章 全般的な問題提起（広い問題提起）

- ・ 「×××問題」最近の傾向
- ・ ×××や×××、×××でお困りの人が多いようです。増えています。
- ・ なぜ×××トラブルが多発しているのか
- ・ なぜ×××が一向に改善されないのか
- ・ なぜ今×××が注目される時代になったのか

### ● 第2章 数ある問題提起のなかで、メインにとりあげたい問題提起 （数ある問題のなかでも この講演会で焦点を当てたい問題提起）

- ・ なかでも×××で失敗する人が多発しています。
- ・ なかでも×××が深刻な問題になっています。
- ・ 最近、××を放置していたために×××になってしまう人が急増しています。

### ● 第3章 私がこの仕事に就いた理由

- ・ 私が×××に携わるようになった理由／この仕事に就いた理由  
（出会い・エピソード・信条）
- ・ 全国で×××の講演行脚をしている理由（出会い・エピソード・信条）  
（小冊子では、「この小冊子を書いた理由」という章になります）

★第3章の出だしは次のようになります。

「では、いよいよ×××の解決策について説明したいと思いますが、その前に、  
私がなぜ×××コンサルタントになったのか？

その理由や出会い、その想いについて お話しさせていただきます」

又は、

「なぜ、私がこの商品を開発したのか？ あるアメリカ人との出会いについて  
お話しさせていただきます」

## ● 第4章 解決策の提示

- ・ ×××で失敗しないための5つのポイント
- ・ ×××工事で信頼できる業者の選び方
- ・ ×××を回避する「賢いプラン」の作り方

## ● 第5章 明日からやる「小さな第一歩」について

- ・ これだけは絶対にやっておきたいこと（最低限やるべきこと）
- ・ 「×××実践」へのアドバイス
- ・ 明日からスタート「小さな 小さな 第一歩」
- ・ 専門家への相談方法について。相談相手の選び方（背中を軽く押してあげる）

講演終了後、質疑応答タイムを入れる場合と入れない場合があります。

小冊子も同じです。

小冊子で「Q&A集」を載せる場合は、

第5章を「よくある質問にお答えします」という章タイトルにして、Q&Aを紹介します。

.....

まずは、気楽に最後の最後まで書き上げることが大切です。

気持ちを楽しんで、「講演原稿の下書き」をドンドン書き進めていきましょう。

下書き原稿を最後まで書き上げたあとは、

自力で小冊子原稿としての仕上げ作業を行うか、文章づくりのプロ「ライター」に仕上げてもらいましょう。

次ページにも参考資料があります。

↓ ↓ ↓

## 集客用小冊子の章立て例①

### 工務店の小冊子

はじめに

第1章 友人の「家づくり」を見て、私は不安になりました

第2章 どうしてこんな間取りにしたのだろうか？

第3章 なぜ私はこの小冊子を書いたのか？

第4章 「家づくり」成功のための7つのチェックポイント

第5章 担当営業マンへ質問をしてみよう

おわりに

著者プロフィール紹介

---

★第5章を「第5章 あなたの疑問・質問にお答えします」として、  
Q&Aの章にする方法もあります。

## 集客用小冊子の章立て例②

### 歯科の小冊子

はじめに

第1章 歯科治療に対する常識が間違っている

第2章 よくわからない 保険治療と自費治療のちがい

第3章 なぜ これまでの常識は間違っていると気付いたのか？

第4章 上手な歯医者さんのかかり方 5つのポイント

第5章 よい歯医者さんの見極め方

おわりに

著者プロフィール紹介

---

★第5章を「第5章 あなたの疑問・質問にお答えします」として、  
Q&Aの章にする方法もあります。

## 集客用小冊子の章立て例③

### 生命保険代理店の小冊子

はじめに

第1章 保険の話は難しく理解できません

第2章 ノルマ優先に見える保険営業マン

第3章 なぜわたしがこの小冊子を書いたのか？

第4章 信頼できるアドバイザーを見極める方法

第5章 よくある質問にお答えします

おわりに

著者プロフィール紹介

●オプションで、本文中のオリジナルイラストも制作します。

過去のイラストいろいろ



●オプションで、本文中のオリジナルイラストも制作します。

過去のイラストいろいろ



**集客ツールの宝箱！アート印刷株式会社**

引継ぎサポートコースについてのご相談・問い合わせフォームは → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>  
電話でのお問い合わせは → 087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)  
Eメールでも → [info@artinsatsu.com](mailto:info@artinsatsu.com)